

平成29年度

学校関係者評価報告書

平成30年10月

学校法人日本コンピュータ学園

東北保健医療専門学校

## 平成29年度 学校関係者評価報告書

平成20年度に学校教育法施行規則が改正となり、専門学校による学校自己評価の実施が義務化されたことを受けて、学校法人日本コンピュータ学園東北保健医療専門学校では、平成24年度より教育活動実施状況を総合的かつ客観的に点検・評価し、問題点を明らかにした上で、次期の教育活動や学校運営の改善に活かし、開かれた学校づくりを進めることを目的とした「学校自己評価」を実施しています。

さらに、平成25年度からは、学校の卒業生、関係業界、学識経験者から成る「学校関係者評価委員会」を設置し、学校関係者による評価も実施しております。

平成29年度の教育活動、学校運営につきましても、学校自己評価ならびに学校関係者評価を実施致しました。学校関係者評価委員会においては、多くの貴重なご意見やご指導を頂き感謝申し上げます。

今後とも学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでいく所存です。

### 1. 学校関係者評価委員会

#### 学校関係者評価委員

菊田 正信 氏	東北管理株式会社	代表取締役 (委員長)
三浦 陽平 氏	独立行政法人国立病院機構仙台医療センター	作業療法士
渡部 達也 氏	株式会社わざケア	代表取締役
渡邊 好孝 氏	医療法人社団光友会	介護老人保健施設アルパイン川崎 地域包括ケア推進部 部長

#### 事務局

清水 逸	校長
大苗 敦	法人事務局 部長
橋本 康男	東北電子専門学校 総務部長
上遠野純子	東北保健医療専門学校 教務部長
佐藤 美加	東北保健医療専門学校 教務課長
柏倉 裕太	東北保健医療専門学校 教務主任
鈴木 香織	東北保健医療専門学校 総務課長代理
岩渕富美子	法人事務局 主任 (書記)

## 2. 評価対象期間

自：平成29年4月1日

至：平成30年3月31日

## 3. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様には「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

#### 4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価、意見、提案を報告します。

評価は、4～1の点数で記載します。

評価 4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

##### ■基準1 教育理念・目的

評価 4

- ・ 教育理念・育成人材像等については明確に定められ、学生便覧・学修要項（運営方針・教育計画）・入学案内やホームページで広く周知している。
- ・ 教育課程編成委員会の委員からいただいた意見を踏まえ、学科ごとに業界の現状を見定めながらカリキュラムを検討するとともに、学校における各科の職業教育の特色を明確にしている。
- ・ 介護福祉科の留学生受け入れ準備や平成30年度からは歯科衛生科の開設など、社会経済のニーズや地域・病院・施設等の業界ニーズを踏まえた取り組みに今後も期待したい。

##### ■基準2 学校運営

評価 4

- ・ 前年度の学校評価及び事業計画に基づいた運営方針を策定しており、組織的な学校運営がなされている。今後も、より効果的に機能するような組織体制を推進していただきたい。
- ・ 人事、給与に関しては、法律改正に合わせた見直しを適宜実施しており、関係法令や基準を遵守し制度を運用している。
- ・ 教育活動に関する情報は、ホームページ（入学案内・ブログ・職業実践専門課程の基本情報）や体験入学会・オープンキャンパスなどで広く適切に公開されている。
- ・ 情報システム化は、積極的に取り入れており、効率的な業務の推進を図っていることがうかがえる。

##### ■基準3 教育活動

評価 4

- ・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を策定しており、今後もより良い検討を進めていただきたい。また、教育到達レベルや学習時間の確保については、学科ごとに

シラバスや時間割などで明示されている。

- ・ 実践的な職業教育の視点に立ち、特に実技科目では複数教員担当制にすることできめ細かく学生に対応するなど、各科及び教員が教育方法を工夫していることがうかがえる。また、学科ごとに実施している教育課程編成委員会の委員よりいただいたアドバイスは、カリキュラム・教育内容に適切に反映させるなど、継続して見直しを行っていただきたい。
- ・ 授業評価（学生評価）は、より学習効果を促進できる内容に改善する等、評価項目について必要に応じた検討を進めていただきたい。成績評価・単位認定の基準については細則のなかで明確になっている。
- ・ 資格取得については、国家試験を受験する学科については、別枠で課外授業を実施するなど、担当教員や担任が連携した指導体制を取っている。今後もカリキュラム及び教育内容についてより良い対策を推進していただきたい。
- ・ 教員の研修については、専門分野の最新技術・知識や指導力向上のための研修を必要に応じて実施しており、職員の研修についても制度整備をお願いしたい。
- ・ キャリア教育については、教員と学生がコミュニケーションを積み重ねることでお互いに理解を深め、目指す職業と社会貢献について関連づけて学ぶことが重要だと考えます。

#### ■基準4 学修成果

#### 評価 3

- ・ 就職については、担任と就職センターが連携し、学生への早期意識づけを行うなど、きめ細かな支援をしており、今後も継続していただきたい。
- ・ 学生によっては、国家資格取得を優先することで、在学中の就職活動を躊躇する傾向が若干あり、学校として就職内定率を考慮すると、学生の意識・モチベーションを維持させる取り組みを今後検討していただきたい。
- ・ 学校全体として資格取得率の向上が図られている。引き続き国家資格・各種資格試験の合格率向上のため学科単位、学校全体として、さらなる対策強化に期待したい。
- ・ 退学率低減のために、入学直後から学生相談や学習相談に応じるなど、早期から学生の状況把握に努めたことで、学校全体として昨年より退学率が下がり一定の成果が出ていることがうかがえる。
- ・ 現状では各教員が個別に卒業生と情報交換することで、卒業後のキャリア形成の現状を把握するよう努めている。今後も同窓会幹事会及び総会でアンケートを実施する予定であり、広く卒業生の意見を把握することで教育活動に反映させていただきたい。

## ■基準5 学生支援

評価 4

- ・ 学生の進路・就職については、「就職支援プログラム」の下、担任と就職センターが連携して計画的に指導が行われている。
- ・ 学生サポート室を設けて学生のメンタル、学習、生活面及び健康管理に対する支援体制は整備されており、課外活動についてもボランティアの紹介や協力など必要に応じて支援が行われていることがうかがえる。
- ・ 学生寮をはじめ、校内にはメディアセンター、食堂、売店、就職センター、保健室、学生相談室、自習室などを備え、適時個別の相談を実施し、学生の生活環境への十分な支援が行われている。
- ・ 保護者との早期相談や協力体制については、連絡・連携の基準を明確にするなど、引き続き適切な体制を整備していただきたい。
- ・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境として、本校同窓会と連携し、理学療法科卒業生による症例検討会（在校生も参加）の開催支援、技術指導、国試対策講座の実施など、継続した取り組みに期待します。
- ・ 昨年は特に、新設した歯科衛生科において担当教員が高校に出向き、学科概要や取り組み内容を積極的に情報発信してきたことがうかがえる。今後も職業理解を深める企画の実施や高校と連携したキャリア教育・職業教育を推進していただきたい。

## ■基準6 教育環境

評価 4

- ・ 教育設備については、指定規則上の施設設備、備品は整備している。主に情報系授業で使用する教室はコンピュータールームとして更新したことで、学生にも好評で良い影響を与えている。引き続き、教育上の必要性に応じて医療現場等の情報を活用し、新しい設備・備品を検討するなど、より良い整備をお願いしたい。
- ・ 自己学習やグループ学習、就職関連準備など、メディアセンターや各教室を有効活用し、自主的に学習するための環境は整備されている。
- ・ 防災・地震に対する訓練が定期的に行われており、防犯についても徹底した巡回・施錠を強化し、適切に対応している。

## ■基準7 学生の受け入れ募集

評価 4

- ・ 学生募集広報活動は適正に行われており、教育成果も正確に伝えられている。今後も入学希望者に積極的に情報発信するとともに、ニーズに合わせた適正な広報活動を行

うことを心掛けていただきたい。

- ・ 学納金は、他校の学費水準も把握し、教育内容や教育環境に照らし協議の上決定しており、妥当であると考えます。

---

■基準 8 財務

評価 4

- ・ 学校の財務状況及び会計監査は適正なものであり、今後も財務基盤の安定のために、少子化の時代を見据え、支出の見直しによる経費削減、メリハリのある予算編成・執行等を継続していただきたい。
- ・ 財務状況はホームページ上で公開されており、情報公開の体制整備ができています。

---

■基準 9 法令等の遵守

評価 4

- ・ 関連法令・施設設置基準ならびに個人情報の取り扱いについては、適正に周知・遵守しており、引き続き的確に実施していただきたい。
- ・ 個人情報の保護については規則や基準に基づき、学生及び教職員へ周知するとともに、適切に管理・運用している。
- ・ 自己評価については、問題点を明らかにし、対策および改善策を実施するなど適正に行われている。
- ・ 自己評価の結果についても適切に公開されている。

---

■基準 10 社会貢献・地域貢献

評価 4

- ・ 関係団体からの依頼によりボランティア活動を学生に紹介するなど、教員が依頼先と連絡調整し学生を支援している。今後は学生主体の運営を念頭に置きつつ、継続した取り組みに期待します。
- ・ 宮城県委託事業の離職者等再就職訓練（介護福祉士養成業務）を平成30年度から再開し、介護人材確保事業として、進学相談及び公開講座を開催しており、介護の仕事の魅力や大切さを伝える取り組みを推進していることがうかがえる。

以上

---

学校法人日本コンピュータ学園 東北保健医療専門学校

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1 丁目 3 番 1 号

---